



とくていひえいりかつどうほうじん

特定非営利活動法人



じりつしえん

自立支援センター おおいた

UD (ユニバーサルデザイン) コンサルタント

げんざい けんえいあけのじゅうたく せつけい すず

*** 現在、県営明野住宅の設計が進んでいます! ***

だい 16 号 発行年月日: 2009年3月3日 (火)
 発行元: 特定非営利活動法人
 自立支援センターおおいた
 編集担当者: 五反田法行



昨年より、明野住宅福祉ワークショップアドバイザーとして、県営明野住宅の建て替え計画へ参加しています。

当センターが参加する大きな目的は、1階部分に建設される『車椅子優先住宅』に関して、様々な障がい種別の車椅子使用者が使いやすく・安心・安全に生活できる居住空間を提案することでした。残念ながら、これまでに建設された公営住宅に存在する車椅子優先住宅は、障がい当事者やその人達を日常からサポートしている人達の意見が反映されたものが無く、使い勝手の悪いものが少なくなかったのが現状です。

今回、障がい当事者を含む当センターのスタッフがコーディネーターとして設計VEの段階から加わり建設されるものというのは、全国でもまだ稀な取り組みだと思えます。また、この県営明野住宅に関しては、これからの高齢化社会に対応できるように車椅子・高齢者優先住宅をはじめ全室ユニバーサルデザインという考え方を取り入れた先進の住まいとなります。

日本国内に於いては、建て替えは勿論、既存の公営住宅や民間住宅に関しても、誰もが居住しやすいユニバーサルデザイン住宅が主流となるでしょう。そして、これから近い将来、専門知識を持った障がい当事者がユニバーサルデザイン(UD)コーディネーターとして、様々な分野で活躍する日が必ず訪れることでしょう。



きじたんどう かわのりゅうじ
記事担当: 河野龍児

おおいたけん きょういく でまえこうざ しょくばけんがくうけいれ じぎょう
大分県「教育」ネットワーク「出前講座・職場見学受入」事業

おおいたけん きょういく きょうりょくだんたいとうろくせいど じっししようこう のつと じりつしえん きょういく
 大分県「教育」ネットワーク協力団体登録制度実施要項に則り、自立支援センターおおいたでは「教育」ネットワーク
 きょうりょくだんたい とうろく いま とうだんたい とく など ひろ ぶん や つた かんが い か ないよう じっし
 協力団体として登録いたしました。今までの当団体の取り組み等を広い分野でお伝えできればと考え以下の内容で実施い
 たします。 当事者(障がいがある当事者本人)

しゅ べつ 種 別	でまえこうざ 出前講座
テ - マ	とうじしゃ じんけんおよ かくしゅう 当事者による人権及びユニバーサルデザイン・バリアフリー学習
ない よう 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者がバリアフリー、ユニバーサルデザインの必要性を講義いたします。 ・実体験をふまえた人権学習の講義を行います。 ・車椅子や白杖を使用した疑似体験学習を行います。
たい しょう 対 象	しょうがくせい ちゅうがくせい こうこうせい いっばんほか 小学生/中学生/高校生/一般他
とっきじこう 特記事項	こうざ ないよう じかん こうしりょう しゅつちようひ そうだんくだ 講座についての内容や時間、講師料、出張費につきましてはご相談下さい。



しゅ べつ 種 別	しょくばけんがくうけい 職場見学受入れ
テ - マ	とうじしゃ はたら しょくばけんがくおよ じゅうきょけんがく 当事者が働く職場見学及びユニバーサルデザイン住居見学
ない よう 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が働いている職場見学を行う事ができます。 ・当事者による人権学習講義を行う事ができます。 ・事務所ユニバーサルデザイン構造の見学を行う事ができます。 ・当事者によるユニバーサルデザインの講義を受ける事ができます。 ・障がい者が自立生活を送る前の体験室(居室)の見学を行う事ができます。 <p>各、見学では現場で働く障がい当事者が丁寧に説明致します。</p>
たい しょう 対 象	しょうがくせい ちゅうがくせいこうこうせい いっばんほか 小学生/中学生/高校生/一般他
とっきじこう 特記事項	けんがく ないよう じかん りょうきんなど ばっせい ばあい そうだん 見学についての内容や時間により、アドバイザー料金等が発生する場合がございますのでご相談 くだ 下さい。



でまえこうざ しょくばけんがくうけい かん きてん じつもん い かんらんくまき たんとう といあわ くだ
 出前講座、職場見学受入れに関するご希望やご質問につきましては、以下連絡先・担当までお問合せ下さい。

【お問合せ】

ほうじん じりつしえん
 NPO法人 自立支援センターおおいた/0977-27-5508

きじたんとう やすとみひでかず
 記事担当: 安富秀和



『平成20年度地方の元気再生事業』は内閣府(担当：九州運輸局)からの委託で、別府市内のまちづくりに関わるNPO団体、行政、別府市商工会議所が連携して、泉都別府の観光再生に向けて9月より活動を行なっています。当センターは「高齢者・障がい者の方でも安心して旅行が出来るモデルコース作り」というテーマで事業を行っており、モデルコース作成に向けてユニバーサルデザインコーディネーターと呼ばれる障がい当事者と介助者をお招きして実地調査を行いました。その第1回目として10月21日～23日の2泊3日の日程で、東京のスタジオE.L.文京に所属する障がい当事者2名、介助者2名の計

4名に来て頂きました。主なコースは地獄めぐり、九重“夢”大吊橋、湯布院散策、別府のまち歩き「山の手レトロ散策」でした。特に2日目にいった九重“夢”大吊橋は日本一の人道吊橋で、九州でも今、人気のスポットである事から平日にも関わらず、多くの観光バスが止まっていました。当日は天気も良く、景色もきれいにみる事が出来ました。(でも風が強かった・・・) 当事者のおひとりが『高い所は好きなんですよ』と言われ、楽しそうに渡っていらっしやるのが印象的でした。

最後に帰られる際には、「また別府に来たいです。」とおっしゃっていました。あっという間の2泊3日で仕事ではあったものの、別府を気に入って頂いて、私達も大変嬉しく思いました。

~~~~~

11月4日(火)～11月6日(木)の日程で、今事業2度目となる実地検証ツアーを行いました。

今回の実地検証ツアーには関西より、全国頸損連絡会及び介助者に所属する2名のユニバーサルデザインコーディネーター及び2名の介助者をお招きしました。実地検証ツアーの三日間で県内、9箇所にも及ぶ観光地・中心市街地にある歴史的建造物・飲食店等を回り検証を行うことができ、大変、有意義な検証調査となりました。



検証調査を行っていく中で、いろいろな良い点・悪い点もできましたが、今回の検証に御協力いただいた2名のコーディネーターの方々から「別府という街はハードの面でも比較的充実しているが、何よりも市民の人達に優しさを感じる。ユニバーサルデザインを普及していく事において、市民の優しさ、温かさなど協力的な所が大切」との言葉を頂き、別府市に在住している私自身も知らない別府の景観・歴史等を目の当たりにすることで、観光地別府の素晴らしさを感じました。この観光地別府を大切にしながら、皆様に御協力して頂きながら、ユニバーサルデザインの普及に邁進していかなければならないと強く感じる事の出来た実地検証でした。

最後に今回の事業実施にあたり、御協力頂いた皆様、本当にありがとうございます

た。この場を借りて深く御礼申し上げます。これからも御指導、御鞭撻の程、よろし

くお願い致します。

ねん がつ おおいた しゅうつづ じりつしえんほう かん おお がつどう おこな  
 - 2008年10月、大分で2週続けて自立支援法に関する大きな活動が行われました -  
 『もうやめようよ！ 障害者自立支援法 10.31全国大フォーラム 大分行動』を実施！



けんちょうない ようぼうかつどう ようす  
 県庁内、要望活動の様子

今回、東京で行われた「もうやめようよ！障害者自立支援法10.31全国大フォーラム」に合わせて、大分県でも障がい者、家族、支援者、事業者が協力して自立支援法に対する抜本的な見直しに向けて県庁にて要望活動が行われました。要望書をお渡しした後、参加者の方から、「福祉職の賃金面等の待遇の悪さから介護職離れが進み、障がい者の地域生活に深刻な影響が出ている。県としても介護職員の雇用の確保への施策を実施して欲しい」という要望があり、県からは「支援法施行3年後の見直しの時期を迎え、サービス支給料のアップが見込まれているが、賃金へ反映されるような取り組みを行なっていきたい」という返答がありました。

だい かいきゅうしゅうべんごしかいれんごうかいていきたいかい かいさい  
**第61回九州弁護士会連合会定期大会シンポジウムが開催！ (2008.10.24)**  
 テーマ『障がい者の人権と障害者自立支援法～障害者自立支援法の抱える問題点と同法の今後を考える～』



シンポジウムの様子 2008/10/23

九州弁護士会連合会（徳田靖之理事長）は24日、別府市のビーコンプラザで定期大会を開き、関係者約300名を集める中、障がい者の人権を守るため、応益負担制度の廃止などを盛り込んだ「障害者自立支援法の抜本的改正を求める宣言」を採択しました。

このシンポジウムには、シンポジストとしてとうセンターのスタッフやヒューマンネットワーク熊本の東俊裕氏も参加され、支援法施行後に起こった問題点(地域で生活をする障がい者や事業所の現状、介護職員の不足等々)や今後について活発な議論が交わされました。

きじたんどう かわのりゅうじ  
 記事担当: 河野龍児

「夜に別府の街で語り合おう！第2弾」

平成20年10月25日(土)に、夢喰夢叶にて「夜に別府の街で語り合おう！第2弾」を開催いたしました。内容は、3チームに別れ各班ごとに街歩き・食事をしながら、次のチーム対抗カラオケ大会の商品を2品購入という条件のもと別府探索をおこないました。まち歩き・食事をとりながらの探索を通して各班交流を深めた後、20時30分より夢喰夢叶にて各班対抗カラオケ大会に突入。各チーム様々な作戦をたてチーム一丸となり優勝目指して頑張りました。結果はスタートより安定した歌を披露したBチームが2位チームと2点差という僅差で優勝し、見事、商品を手に入れました。前回の夜に別府の街で語り合おう！から内容を少し変えての企画でしたが、今回もとても楽しく盛り上がった企画だったと思います。ご参加下さいました皆さん有難うございました。



こうりゅうかいふうけい  
 交流会風景

きじたんどう わかすぎ たつや  
 (記事担当: 若杉 竜也)

ひとあしはや  
一足早い？ フィールドトリップ『クリスマス・カラオケ交流会』を開催しましたあ～

クリスマス・カラオケ交流会を 12月13日(土) 13時から開催しました。体調不良で参加をキャンセルされた方がいらっしゃり、チーム編成を変更する等、若干時間を下げたスタートとなりました。自己紹介の後、Aチーム・Bチーム6人ずつに分かれ、軽食代とプレゼント代を配って「ゆめタウン」に出発しました。短い時間での買い物でしたが、それぞれおもしろグッズや食べたい物を選んで夢喰夢叶へと戻りました。15時過ぎからチーム対抗のカラオケ大会がスタート。スタッフの提案で3番手と5番手の得点をそれぞれ2倍、5倍にすることになりました。両チームともに熱唱が続き、ラストバッターが歌い終わった所でプレゼント交換となりました。

クリスマスソングに乗せてプレゼントを廻していき、曲が終わったところでストップ。自分の好みのグッズやおもしろグッズが当たった方等、それぞれが笑顔、涙(?)のプレゼント交換となりました。カラオケの結果はBチームの勝利となりました。

当日は気温も低く、買い物の中には雨が降り出すなどハプニングの連続でしたが、参加者の皆さんの協力もあって無事に進行することが出来ました。皆さん口々に「楽しかった」と言っていたさきほつとしています。

参加されたみなさん、お疲れ様でした～～～！！

きじたんどう しゅとう けんた  
(記事担当:首藤 健太)



くるまいす でも でき  
車椅子でも出来るんです！！ フィールドトリップ『ボウリング交流会』を開催しました

平成20年9月20日(土)にスギノイボウルで第21回フィールドトリップ「ボウリング交流会」が開催されました。当日の参加者は9名(飛び入り参加者1名)でした。ボウリングを行う際、車椅子の方は投球補助機(すべり台状になっていて、ボウリングの球を転がす)を使用し、健常者の方は普通に投球してもらった形式でゲームを行いました。力が入りすぎてコースが定まらず、ストライクが出にくかったのですが、投球補助機を使用した車椅子の方々にはストライク連発10フレーム目にターキー(3回連続ストライクを出す事)を出した方もいました)など絶好調でした。ガター防止も付けていたので球が面白い動きをしてスパアを取る方や車椅子の勢いを付けて投球された方、床に球を落としてしまい大惨事になりかけた等、珍(?)プレーも続出しました。2ゲームをゆっくりとした時間の中で行い、ボウリングの後も自由行動でスギノイパレス内のゲームセンターで楽しむ等、土曜日という優雅な一日が過ごせました。参加された皆様、本当にお疲れ様でした。



きじたんどう しゅとう けんた  
(記事担当:首藤 健太)

やったあ

# 「平成20年度大分県NPO連携推進事業」実施報告



誰もが安心して街歩きを楽しむためのUDマップ6600冊を作成し配布したよ～

一言で「6600冊」と言いましたが、30cm四方のダンボール1箱に1冊40ページのUDマップが200冊ずつ梱包され、積み上げられたその数はなんと33箱!!! 事務所内の一角を占拠し積み上げられたダンボールのその様は圧巻でした。(イエエ...、崩れ落ちる恐怖さえ感じました。ブルルルル...)

改めまして、通称『UDマップ』、本名『誰もが街歩きを楽しむためのUD(ユニバーサルデザイン)マップ』が完成致しましたあ～。＼(^ ^)／

当初予定していたのは4000冊だったのですが、大分や別府の様々な飲食店や温泉施設のUD度調査を始めて直ぐ増刷が決定!? なんでえ～??? そです...、それは40数年に一度しか巡って来ない(次の時は絶対観れないだろうなあ～)第8回全国障害者スポーツ大会チャレンジ! おおいた大会が開催され、全国から来県する参加者の皆さんに大分の観光を心から楽しんで頂きたいという大儀名分があったからなのでした。ということで2600冊の増刷と10月11日開幕に間に合うように、イエエ、国体事務局から言い渡された「9月の第2週までには届けて」という無情なお達しに、僕らスタッフは2ヶ月で完成させたのでした! [神業 (^ ^)o] 勿論、中身の質は落とせないのが本当に大変でした。これも一重に、ご協力頂きました各施設の店主の皆様や関係者のお力添えの賜物と心から感謝致しております。

国体へ参加された方々のアンケートの中に、「大分の観光情報をもっと知りたかった」という意見が多かったというニュースを最近耳にしましたが、障スポへ参加された皆さんがこのUDマップを手に入れたことを良い機会として、再度、大分を訪れ、様々な観光地を安心して心から楽しんで頂ければ幸いです。ちなみに、障スポの関係者の皆さんへは5400冊を配布し、残りの1200冊は、大分に住んでおられる皆さんの手元へ届くようにできるだけ広範囲へお配り致しました。お手元に届いたみなさんは、どんどん外に出掛けて人生を楽しみましょうね!

記事担当: 河野龍児

## 車いすマーク駐車場の適正利用キャンペーン

～みんなのやさしさと思いやりを守る車いすマーク駐車場～



2008年10月25日・26日と11月29日に県からの委託事業として「車いすマーク駐車場の適正利用キャンペーン」を開催しました。

目的としては、キャンペーンを通じて車いすマーク駐車場における3.5メートル区画の意味や必要性を広く県民にアピールし該当駐車区画への配慮ある行動の啓発を図るというもので、キャンペーンの際にブースを設置し、乗降体験やパネル展示等での意識啓発を図り、また、キャンペーン協力者の署名を集め、賛同者にリーフレット等の配布を行いました。

キャンペーンは、まず10月25日・26日に別府公園での農林水産祭・11月29日にアトリウムプラザでの人権啓発フェスティバルで行いました。

初めに別府公園で行われました農林水産祭では、2日間キャンペーンを行ったのですが1日目は天候が良く、2日目は天候が悪い中での署名活動となり寒さもあり、大変ではありましたが両日あわせて1070名の署名を頂くことが出来ました。次に大分市のオアシス21・アトリウムプラザで行われました人権啓発フェスティバルでは、昨年同様、風が強く、寒さと戦いながらの署名活動となりました。

今回、キャンペーンの際に多くのボランティアの方にお手伝いしてもらったり、署名の際にも「頑張ってください」との励ましの言葉などいただき、たくさんの方のおかげで1100名近くの署名を集めることが出来ました。またキャンペーンを通じて車いす駐車場の必要性を多くの方に理解していただけたのではないかと考えております。

記事担当: 五反田法行

ねん がつ にち ど けん ち じ ち い き だん たい だん たい こ う り ゆ う かい  
 2008年8月30日(土) 県知事と地域団体・NPO団体との交流会

平成20年8月30日(土)に、大分市内の大分県知事公舎にて「県知事と地域団体・NPO団体との交流会」が開催されました。会場には、約130名程の方々に参加され、北は中津市、南は佐伯市まで大分県下の各市町村の皆様で埋めつくされました。内容は、16:00より知事の挨拶からスタートし、各団体毎に各地域の見所や取組を、知事や会場の皆さんに発表する時間があり、代表の方々が自信を持って発表されていました。当事業所からも6人参加し、センターからは理事の河野龍児より、当事業所の現在の活動をふまえた福祉のまちづくりについて発表いたしました。約2時間の交流会となりましたが、地域の繋がりやまちづくりにつなげる為の情報交換の場として、とても有意義な時間となりました。

|               |                     |
|---------------|---------------------|
| -----内 容----- |                     |
| 開催日           | 平成20年8月30日(土)       |
| 時間            | 16:00～18:00         |
| 場所            | 大分県知事公舎庭            |
| 開 会           | 16時00分<br>来賓挨拶・交流会等 |
| 閉 会           | 18時00分(閉会后、後片付け)    |
| 解 散           | 18時30分              |



知事との記念撮影



全体の様子



各団体の発表の様子

ねん がつ にち にち かい さい  
 2008年12月07日(日) 開催

総合防災訓練『地域住民の助け合いと高齢者・障がい者の避難支援をともに考えよう』

この度、別府市千代町自治区にて、総合防災訓練『地域住民の助け合いと高齢者・障がい者の避難支援をともに考えよう』が開催されました。これは、災害時における知識を学び、実際に訓練を通じて要援護者の避難を支援するためには何が必要なのかを考えておく機会とする為、また、災害時に1人で避難することが困難な要援護者(要介護者・高齢者・障がい者など)の円滑な避難の経路や体制を考える事を目的として開催されました。当日は開催関係者、千代町地区住民、ボランティアの約200人の方が参加され、防災について真剣に考える機会となりました。今回の訓練に参加して、本当に様々な事を体験し考える事ができました。実際、震災等が起こった場合、現在車いすがある事で行動範囲が確保出来るものの、建物が倒壊し道が破損した状況で、移動できる手段はあるのだろうか? 避難先で状況が混乱している中で、自分の事で自分出来ない方にとって本当に避難生活がおくれるのだろうか? 等々。近年の群発地震を経験して現実を実感し、今回の防災訓練は「備え」という事に関して地域住民の方々との交流や協力体制を備える機会として良いものだったと思います。



避難の様子



集団での避難の様子



避難場所での様子

## ピアカウンセリング公開講座 開催

平成20年11月15日(土)13時からサザンクロスにおいて「ピアカウンセリング公開講座」を開催しました。今回は当センタースタッフ 9名を含む 11名の参加者が集まり、ピアカウンセリングについて学びました。前回に引き続き、僕がリーダーを任せ「リレーション(触れ合い)」から「ピアカウンセリングについて」「セッション」「ロールプレイ」とプログラムを進めていきました。今回もあえて皆さんに資料を配布せずにピアカウンセリングの基本である「傾聴」に重点を置きました。外部からの参加者が2名と言うことで少々寂しい感じもしましたが、スタッフの中にもピアカウンセリング初体験者がいるということで僕自身も初心に帰っての講座となりました。人数が少ない分、和気あいあいとした雰囲気です。講座は進み、次第に皆さんが進行役である僕自身に集中しているのが感じ取れました。内容については「ピアカウンセリングとは？」といった基本的な内容を出るだけ分かりやすい言葉で伝えることに専念し、ピアカウンセリングへの参加が初めてといった方にも輪に入って来やすいように専門用語を抑え、興味を持ってもらいやすいように工夫しました。公開講座と言うことで「ロールプレイ」では参加者の方に配役を手伝っていただき、皆さんで一体となってピアカウンセリングの手法や必要性を学びました。講座を通じて皆さんの顔つきが変化するのが分かりましたし、口々に「楽しかったです。」「来てよかったです。」と喜んでいただきましたし、スタッフからも「これからも参加してみたい」という声を聞けたので正直ホッとしています。今後もこういったピアカウンセリング講座を通じて自立を希望される皆さんの力になっていけるよう、また社会においてピアカウンセリングの必要性を理解していただけるように努力していきたいと思っております。



記事担当: 福田 浩範

## 農協リハビリテーションセンター・ピア・カウンセリング講演開催

この講演は農協リハビリテーションセンター「にじ」の職員の方から「センター入所者の皆さんにピアカウンセリングについての話を聞いて欲しい」とお話をいただき、今年度内に3回の予定で行うことになったものです。

第一回目の講演は昨年7月19日(土)に行いました。参加者は約30名前後、「にじ」の職員の方にも一緒にお話を聞いていただきました。内容はパワーポイントを使った資料を順に説明しながら、自分自身の体験を基に「ピアカウンセリングとは？」からピアカウンセリングの必要性をお話しました。

皆さん真剣にお話を聞いていただき、終了後の感想では「涙が出るほど感動した。」等、自分の意見や自分の言葉で発表される方もいて、職員の方から「普段とは違う反応が出ていたので、来てもらって良かった。」と喜んでいただきました。次回以降もセンタースタッフが交代で何うことになっています。これを機会に皆さんとの交流を深め、自立へのお手伝いをしていければと考えています。



記事担当: 福田 浩範

## はじめまして！！

08年9月1日より、自立支援センターおおいの職員となりました中島瑠美です。気がつくと3月で半年。

“もう半年も過ぎたんだあ”と思い毎日あっという間に過ぎていきます。今回新聞の記事を書いてみないかと？という声を頂いたので、すこ～しだけ自己紹介をさせてもらいたいと思います。私は生まれた時から祖父母のいる家庭で育ちました。大学に進学する時、祖父母の体が不自由になったら、私が力になりたいという気持ちで50%。もう50%はちょうど福祉ブーム？だったため、ミーハー気分で介護福祉士を目指しました。なんとか大学を卒業し、望んでいた介護福祉士の資格を取り介護の仕事につく事が出来ました。

しかし、たったの1年で挫折。それからは事務職・販売員・ライフガード・・・いろんな仕事をして、いつの間にか5年以上、福祉の仕事から逃げていました。福祉の仕事に戻りたいけど、また挫折したら・・・。そんな事を考えていた時、当センターを知り登録ヘルパーとして、センターに関わるようになりました。ヘルパーとして、センターの人たちと出会い、共通することがありました。「向上心」「負けん気」の詰まったアツいHEARTをもった人たち。それに気付くと同時に、この会社の職員になりたい！！とすぐに履歴書を出しました。職員になってアツい心を持った人たちと一緒に仕事をして、1日1日を1瞬1瞬をとっても大切に感じるようになりました。今は、頭も体も心も毎日フル回転させています。人との出会いにより、こんなに充実した日々を過ごせるなんてとてもステキな事だと思います。これからももっともっと、様々な人と出会っていきステキな毎日を過ごしていける様、頑張ります。

記事担当: 中島瑠美



「女の子は欲張りです」

綺麗になりたーい！！けど美味しいものも食べたい…。自立支援センターおおいたでは、この両方の望みを叶えようとする企画同士がコラボしています。(本当は偶々です(^\_^)) まずはお菓子作り。11月にシュークリーム・カスタードプリンを、2月はバレンタイン目前という事で生チョコ・ブラウニー・チーズケーキを作りました。特に2月に行ったバレンタインチョコ作りでは、参加者の方が講師になって頂いた結果、誰でも作れる様にと工夫を凝らして下さり大人から子ども、当事者から健常者、皆が楽しめて味も美味しい！！イベントでした。



みんなでお菓子作り

そしてそして、エステイベント(^\_^) 12月は自宅で作れるホームエステ方法を教わり、1月は贅沢に1人1人にエステ施術をして頂く素敵な企画が^m^もちろんこちらも場所がユニバーサルマンションだけあって、皆楽しく綺麗になりました。今後はメイクレッスン等、女性にとって嬉しい企画を考えています。もちろん料理のほうも、お菓子だけでなく他の料理も考えていきたいと思えます。

女性の方、乞うご期待！！あっ もちろん男性の方も参加できるように考えて行きますのでお楽しみに!(^^)!

記事担当: 鎌地利子

別府八湯 車いす温泉道

自立支援センターおおいた職員の安富秀和です。私が別府に転居して2月1日で3年が経ち、知り合い等沢山ふえ充実した生活を送っています。そんな中、昨年別府市で行われた「泉都別府まちづくり交流会」に参加した際に温泉道永世名人 土谷雄一さん通称(つっちさん)にお会いし、別府の温泉の魅力や素晴らしさを聞きました。私自身、別府の「野上本館/鬼石の湯/桜湯」といった温泉には入った事はありますが、いずれも家族風呂で大浴場や露天風呂といった所には入る事が厳しい状況でした。つっちさんとの話の中で、大浴場や露天風呂に入りたい?という質問をされ、「是非とも入ってみたいですよ」と直ぐに答え、これをきっかけに私の「別府八湯 車いす温泉道」がスタートしました。まず、温泉道に挑戦するにあたり、最初に最大の問題である人員募集について考えました。私自身、体重約70kg、車いすを合わせると80kg以上あり、通常バリアフリーでない温泉に入るとなると大人1人では厳しい状態で、つっちさんがいるんな方々に声かけをしていただき、通称(ハナムラさん)が参戦してくれる事となりました。そして、ミーティングやメール等を繰り返し、来たる2009年2月3日(火)、ついに別府八湯温泉めぐり「温泉名人への旅」にデビューしました。記念すべきデビュー戦は、JR別府駅裏にある「JR九州の宿べっぶ荘」、当日は(つっちさん、ハナムラさん)の他に同じ温泉名人の(リコちゃん)、そして同じく温泉名人の(マロちゃん)が駆けつけてくれ、まさに18年ぶりの温泉の大浴場に入りました。「気持ちよかった～!」更に、露天風呂にも入り大満足のデビュー戦となりました。JR九州の宿べっぶ荘はホテルの温泉という事もあり、かなりバリアフリーのつくりとなっていました。これから階段や坂といった温泉施設も多く、まだまだ名人への道は長いですが焦らずに、これからもいろんな方々の力を借りながら、別府温泉八十八箇所をクリアし別府温泉道名人を目指して行きたいと思えます。この場をかりて、私の車いす温泉道へご協力くださる方、是非ともお待ちしておりますので宜しくお願い致します。

<http://onsendou.web.fc2.com/yasu/onsenbeep/index.htm> (別府八湯 車いす温泉道HP)



「別府八湯 車いす温泉道HP開設」



べっぶ荘の露天風呂



記念撮影

記事担当: 安富秀和



これから自立支援センターおおいたや自立生活センターおおいた  
 では、楽しい催し物をぞくぞくと行っていきますので、ご家族・ご  
 友人をお誘いの上、皆さんふるってご参加下さい。詳細は、1ヶ月前  
 にチラシや市報などによりお知らせ致します。  
 (催し物や日程は都合により変更の場合がございますので予めご  
 了承下さい。)

《今後の予定》

| 日                            | 程        |
|------------------------------|----------|
|                              | 3月7日(土)  |
| 防災とまちづくりを考える                 |          |
|                              | 3月13日(金) |
| 夢喰夢叶でとり天品評会                  |          |
|                              | 3月14日(土) |
| みんなでホワイトデーを楽しもう              |          |
|                              | 3月28日(土) |
| Make lesson「ベース・コンシーラ・アイブロー」 |          |
|                              | 4月4日(土)  |
| フィールドトリップ「春だ！お花見交流会 第2弾」     |          |
|                              | 5月16日(土) |
| ピア・カウンセリング講座                 |          |
|                              | 6月20日(土) |
| フィールドトリップ「ツインバスケット交流会」       |          |
|                              | 6月27日(土) |
| フィールドトリップ「第3回夜に別府の街で交流会」     |          |

< 編集後記 >

大変お待たせしました。センター新聞16号が完成いたしました！今号もボリュームたっぷりです読み応えが  
 あると思います。じっくり読んでくださいね。この新聞が発行される頃には2月も終わりで、まもなく春が  
 やって来ます。今年も自立支援センターおおいたでは、スタッフ一同力を合わせ、各種イベントを含め、  
 様々なチャレンジをしていきますので応援宜しくお願いします。

編集後記担当：福田 浩範

主なサービスは次の通りです。

- 訪問介助サービス
- ピア・カウンセリング
- 自立生活プログラム
- 福祉各種無料相談
- 自立生活・バリアフリーセミナー
- バリアフリーコンサルタント  
(ユニバーサルデザイン)

特定非営利活動法人 自立支援センターおおいた  
 〒874-0942  
 大分県別府市千代町13-14 二階 - 伽マシヨン 2F  
 TEL : 0977-27-5508  
 FAX : 0977-24-4924  
 E-mail : [ud111@jp700.com](mailto:ud111@jp700.com)  
 URL : <http://www.jp999.com/333/>

私達は利用者主体の介助サービスを提供しています

